



# 学校だより

1月号(第517号)  
平成31年1月7日  
横浜市立すみれが丘小学校

## 学校教育目標

〈 みんな友だち すすんで学ぶ元気な子 〉

豊かな人間関係の中で、自分らしさを大切にして主体的に学ぶことができますようにします。

## 新たな時代を切り拓いていくすみれっ子を目指して！

校長 吉田 茂樹



### 明けまして おめでとうございます

例年よりも少し長かった冬休みですが、子どもたちの元気な声とともに新年の授業が始まりました。

今年は、5月に年号が変わり、2020年は、東京オリンピックが開催されます。大学入試制度も変わってきます。2021年には、新しい小学校学習指導要領が全面実施されます。さらに、2025年には、大阪万国博覧会も開催され、まさに大きな時代の節目に立っているといえます。

しかし、変革していかなければいけないこともあれば、時代が変わってグローバル化しても、人工知能が発達して便利な社会になっても、人間にとって普遍的に大切なことがあります。私は、6年生の卒業文集の原稿に目を通してそのことを強く感じました。

- ・友達がいたからできたこと 友達の励まし、応援が心の支えになったこと
- ・挑戦する気持ちをもつ→世界が広がることや失敗や苦勞を乗り越えたときの達成感があること
- ・笑顔の大切さ
- ・感謝の気持ちを伝えることの大切さ
- ・他の人のことを考えて行動すること 自分のためにもみんなのためにも頑張ること、協力することの大切さ (運動会では赤組に負けたけれど、勝敗だけではない、みんなで力を合わせて応援して頑張った達成感があった。)

大事なことと分かっていることですが、子どもたちの文集には、運動会、市体育大会、修学旅行、クラブ活動、委員会活動など自分の実体験を通して悩み、考え、気付き、向き合い、振り返って実感した強い思いが綴られていて、心の成長を感じました。

このような思いをもったすみれが丘の子どもたちは、きっと新しい時代にも対応し、人生を切り拓いていけることでしょう。

今年度も残り3か月を切りました。人とのかかわり合いや様々な体験を大切にして心身ともにより一層の成長ができるように教職員一同努めていきたいと思ひます。

本年もどうぞご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。